

第 23 回埼玉県理学療法学会

学会長賞および学会奨励賞の選考結果について

1. 学会長賞(1 演題)および学会奨励賞(3 演題)の選考方法

公平な選考を実施するため、以前より、学会長賞および学会奨励賞の選考方法が検討されています。本学会では以下の方法で選考いたしました。

- 1) 査読点数上位 5 演題を選出する(ただし、本学会では、査読点数上位 5 番が同点数で 2 名いらっしゃったため、6 演題を選出しました)。
- 2) 上位 5 演題(6 演題)の中から、最も優秀であると考えられる 1 演題を、評議員および座長の各先生からご推薦(投票)いただく。
- 3) 推薦得票数 1 位の演題を学会長賞の候補とする。
- 4) 推薦得票数 2 位および 3 位の演題を学会奨励賞の候補とする。
- 5) 学会奨励賞の残り 1 枠については、一般参加者による投票の得票数 1 位の演題を候補とする。ただし、査読点数が平均点以上であることを候補の条件とする。
- 6) 学会長が、候補者の受賞を認定する。

2. 結果

選考結果は以下の通りとなりました。

<学会長賞>

演題番号 5

松本 純一 先生 (IMSグループ 春日部中央総合病院 リハビリテーション科)

『マウス下肢虚血の運動が酸化ストレスと血管新生因子に与える影響』

<学会奨励賞>

演題番号 3

大隈 統 先生 (武蔵台病院 リハビリテーション部)

『進行肺がん患者の病態に応じた理学療法の経験

- 在宅復帰～外来～最終末期に関わった 1 症例 - 』

演題番号 12

新岡 大和 先生（さいたま記念病院 リハビリテーションセンター）

『通所リハビリテーション利用者の生きがい感と

身体機能・心理状態・社会環境との関連』

演題番号 15

澤入 彩佳 先生（医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院）

『装具使用者のアフターケアを地域でサポートしていく体制作り

- 越谷市内の一部で連携した活動経過報告 - 』

受賞者の皆様は、理学療法の発展、ひいては、県民の健康に寄与する研究成果を発表され、受賞されました。御礼と御祝いを申し上げます。また、今後とも、理学療法の発展および県民の健康増進にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

以上